

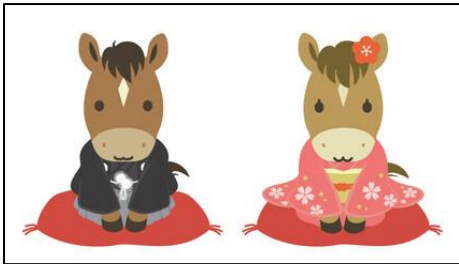
# 大岡の風 1 月



令和7年12月25日  
横浜市立大岡小学校  
TEL (711) 0818  
FAX (713) 3563

「一日一日を大切に」

校長 馬渡 照代



保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動に対しましてご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2026年は、「丙午（ひのえうま）」の年です。丙（ひのえ）は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。午（うま）は、古くから人間とともに生きてきた動物であり、駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午（ひのえうま）の

年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的な年」になるそうです。大岡っ子が、元気いっぱいひのびと学校生活を送り、たくさんのお話を学んで次のステップに進むことができるよう、教職員一同、一人ひとりをしっかり見守り、導く所存です。本年も、よろしく願いたします。

さて、今日から後期の後半が始まりますが、この時期になると「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉を耳にします。学校にとって1月～3月の3ヶ月間は、年度末に向けて1年間のまとめを行い、更なる目標設定を行う大切な時でもあります。そんな充実し、皆が集中する日々を送る毎日のことを、「月日が足早に過ぎてしまうほど忙しい日々である。」と例えた言葉です。

また、本校では、進学・進級に向けて教科学習の充実を図ると共に、「大岡の時間」の山場を迎えます。その発表の場が2月に行われる「大岡文化祭」です。1年かけて取り組んできた成果を、子どもたちだけでなく、保護者の方や地域の方にも見ていただける素晴らしい機会でもあります。今年度も、弘明寺商店街をはじめ、地区センターや消防団、警察の皆さん等、地域の方々たくさん関わっていただきました。それによって子どもたちは、学びを深めると共に、より一層地域の人々に感謝の気持ちをもったり、弘明寺の町への愛着を深めたりしています。そして、「まちの良さを多くの人に知ってもらいたい。」という思いが益々膨らんでいます。

また、多くの専門家の方々との出会いによって、子どもたちは、大きく成長することができています。自分たちだけで探求していても、なかなか先が見えなかったとき、巧みなテクニックと的確なアドバイスによって、「今までできなかったことが、できるようになった。」「以前に比べて、ずっとよい物が作れるようになった。」「いろいろなことを知ることができた。」など、子どもたちは、充実した経験をたくさん積み重ねていただいています。それらがどのようなことなのかは、ここでは述べませんが、子どもたちは、地域や専門家の方々との関わりを「大岡文化祭」で、工夫を凝らして発表することと思います。そして、それに向けて、クラスが一丸となって取り組み、準備を進めていきます。このような毎日ですので、「もっと時間がほしいのに、毎日がどんどん過ぎていく。」「待つて欲しいのに行ってしまふ。」となってしまうまいように、子どもたちには、余裕をもって過ごして欲しいな、と思っています。

最後になりますが、新しい年を迎えると同時に、令和7年度は、あと3ヶ月で終了になります。6年生は、3月19日が卒業式、1～5年生は、3月25日が修了式となり、それぞれのゴールが近づいてきます。実際の登校日を数えてみると、本日7日を入れて、1年生から5年生の授業日数は51日で、6年生は49日です。

6年生は、卒業、そして進学に向けて気持ちを高めていく時期になります。下学年の子どもたちは、お世話になった6年生との別れを惜しみつつ、感謝の気持ちを込めて卒業式に向けての準備を進めていきます。「大岡文化祭」が終わると、学校中が卒業式を意識した毎日になります。それと同時に、各学年の1年間のまとめもしっかり行っていきたく思います。

保護者・地域の皆様には、これからもご理解・ご協力のほど、よろしく願いたします。